

全市連コロナウイルスの影響(2020.06.30現在)

県名	市場名	市 売 等 近 況
北海道	北海道木材市場(協)	6月11日の市は、確り予防措置講じて実施、7月は市開催予定なし。事務所に入らず、土場での解散。取引先にも動きが出てきた感触。
宮城	仙台木材市場	5月の市は、確り予防措置講じ(検温、マスク、アルコール消毒、分散して弁当等)で特段の支障なく実施、6月も予定通り市開催の予定。感染情報もない。受注残の手当てで思ったより落ち込んでいないが、新規が見えず、プレカット部門は稼働を調整。例年盆前に材が動くので、7月までには何とか回復を期待。(製品)
福島	福島県木材市場(協)	・株平木材市場 5月平市は通常どおり開催で、セリも実施、6月も通常どおり開催予定。来場者には今後もマスク、アルコール除菌で対応。(原木・製品) ・福島県中央木材市場 5月平市は入札でセリなし、6月も同様に開催予定、7月からは状況変わればセリを開始するか?マスク、アルコール除菌対応。(原木・製品) ・南福島原木センター 5月平市は通常どおり開催、セリも実施、6月も通常どおり開催予定。来場者には今後もマスク、アルコール除菌で対応。(原木) ・(協)奥久慈木材流通センター 5月平市は通常通り開催(常時入札のみ)、6月以降も通常どおり開催予定。(原木) ・南東北木材株市は経常通り開催、県外からの来客減り、相対及び電話での取引中心。合板工場減産・受入減の動き5月7割程度も6月は更に絞る様子、大型工場も減産、価格も12,000円/m ² だったものが10,000円/m ² 割れ。価格は徐々に下がってきており、先行き心配。5月国有林材も委託材が出てきた。(原木)
千葉	千葉県木材市場(協)	5月の市は、7日は休止、21日記念市は開催。4月、5月の売上減少心配したが、昨年並みの売り上げ。6月18日の記念市に期待。原木今一つだが、製品でカバーしている状況。7月、8月が心配。(原木・製品)
埼玉	埼玉木材市場	5月16日の市は開催、6月15日も開催予定。伐採は、まあまあの進捗。(原木)
埼玉	株吉貞	6月3日、吉貞高崎市場で県産材展示会、6月11日熊谷市場で3箇月振りに記念市を開催。県内・近隣県から来場。7月以降も販売店のようぼうに対応したい。(製品)
東京	新東京木材商業(協)	4月の市は中止、6月も中止、7月に向け準備。思ったより落ち込んでおらず、それなりに引き取られている。(製品)
東京	東京新宿木材市場株	3~4箇月振りに、6月19日埼玉センター展示即売会、25日鶴ヶ島売場優良国産材展を開催、7月3日府中センターで特卖会を予定。(製品)
東京	株東京木材相互市場	・本社 全社「新しい生活様式」の実践。①時差通勤、フレックス、交代勤務、テレワークは引続き推奨、健康管理表。②来客・打合せ：マスク着用、間隔保持を心掛け、面会時間は短く、Web会議の推奨。 ・吹上市場 6月以降予定記念市を再開、訪問買方勧誘再開、週4日勤務体制実施、残業削減、引き続き感染症防止に注意。 ・柏センター 予防措置徹底、会議や特卖会等人の集まる機会回避又は延期、顧客訪問等は出来る限り自粛、時短勤務・交代勤務・在宅勤務は引き続き継続。 ・筑波銘木市場 感染予防策徹底、セリ売りの競子はマスクとフェイスガードで対応。来場しない買方様に対しWeb活用した営業・販売を試行。事務所は交代勤務で効率的業務遂行、全銘展他は地域の状況見ながら県内〜北方面中心に勧誘活動再開予定。(6月中〜下旬か?) ・筑波市場 感染予防策を講じ市を再開して行く、自宅待機・テレワークから交代制時短勤務に変更、業務効率化(定時退社等)、消毒液を各所に継続的に設置。 ・マルタピア(三重) 営業時間と勤務体制は通常に戻す、市は受付設置、ガイドライン参考に予防措置継続、食事提供中止継続(代替品用意)、残業・休日出勤最小限に、外回訪問記録、「新しい生活様式」を各自が理解し、検温等感染拡大防止に最大限務める等。 ・プレカット 訪問営業禁止解除も、必要最低限の営業活動、感染数増加傾向の場合、極力訪問営業自粛、訪問時も予防措置徹底、打合せも質疑内容を書面で作成し、プレカット図と共にメール・FAXでやり取り、設計・製造部門は基本定時退社、緊急事態発令時策定した取り組みは、
東京	東京木材市場株	検温、マスク等予防対策を徹底し6月18日に記念市を実施、7月2日は経常実施を予定。(製品)
東京	丸宇木材市売株	6月10日大塚浜平市以降、北浜、京葉、下館で対策講じつつ、競売再開。7月以降、市場毎の記念市を検討、7月9日北浜中元市&松坂材展。(製品)
東京	東京中央木材市場株	4月22日の市から来場者検温実施し規模縮小し開催。5月13日の市以降全員にフェースガード配布、6月10日の記念市から、昼食提供を再開(距離を確保)。来客は増加傾向となり、売上も回復基調になりつつある。7月1日の記念市は、昼食会場を林場に設定し、今までの対策をより厳格に実施して開催予定。(製品)
東京	東京銘木(協)	・全銘連傘下各市場については、6月は臨田田県銘木センターが6月上旬に予定していた市売の規模を縮小し、メイン行事を7月に延期。他の銘木市場は感染防止措置を講じながら、予定通り市売を行った模様。 ・7月は引き続き感染防止措置講じながら予定通り開催すると聞く。「東京銘木市場」の7月の市は感染防止措置を講じながら予定どおり市売を行う。 ・売上は、どの市場も昨年比で、落ち込んでいる傾向。6月は、ほとんどの市場が予定通り市売を行ったが売上回復は厳しい模様(季節的な問題もあり6月は原木新材が減る時期で製材品の新しいものは、未だといった季節)。(製品)
神奈川	株横浜連合木材	4月10日予定していた年2回の記念市を取り止め。市場の今年度の実績は悪くなかったが、来年度、取引先等の資金繰り等心配。4月売り上げはプラス、6,7月は?。(製品)
神奈川	ナイス株	弊社各市場は6月5日以降の記念市及び通常市を順次再開、再開に当たり社員及び来場者全員のマスク着用、入場時の消毒、ソーシャルディスタンスの確保を徹底し、食事提供無し、事務所内での打ち合わせ禁止の措置を取っている。
神奈川	株相模原木材センター	6月27日、1カ月遅れで記念市を開催。都の感染者がまだ増えている中、緊張感をもって、競売も縮小し、時間短縮しての開催。式典は通気の良い中央通路で行い、冷風扇と扇風機で常に空気を循環、司会台にシールド、マスクをしておの挨拶、お客様には距離を置いていただき、競り子はマスク&フェイスシールドを着用。残念ながら若干お客様が少なく、盛り上がり欠ける記念市でしたが、次回、創立記念市の参考になり、コロナ禍の中、新しい一歩を踏み出していけたと思う。
愛知	株東海木材相互市場	5月の市記念市は昼食を外して実施。5月は市の回数少なく素材が材積73%、売上75%、製品は材積66%、売上69%、合板工場が原木受け入れ減、7月、8月が心配。7月14日西部市場サマーセール、7月17日大口市場素材特別市・製品材棟、辻文サマーセール。(原木・製品)
愛知	西垣林業株名古屋市場	4月に入り製品荷動きが明らかに悪くなってきた。特別市はカレンダー通り開催、イベント内容は協議して決める。5月27日は昼食&競売は無しで商談会のみ、6月特別市(6/24)は、昼食提供自粛は継続しつつも、競売りを再開。7月15日特市。平市は引き続き「特売日」とし、イベントはなし。販売機会減少しているが4,5月はコロナ前の受注の反映で、コロナの影響は6~7月以降に現れる。(製品)
三重	ウッドピア市売協同組合	6月11日に3箇月振りに特別市を検温、フェースガード着用等予防対策して開催。遠方からの来場あったが販売伸び悩んだ。(原木・製品)
大阪	株大阪木材相互市場	交代ローテーション及び時間短縮営業は終了し経常に戻っている。(製品)
奈良	西垣林業株桜井本社等	奈良県原木6市場は、6月の市売は奈良県銘協市・吉野連合会市以外は通常通り開催。西垣林業6月11日定例市は販売方式変更で開催、6月25日特別市は通常通り「競り」で開催。となっている。 ①西垣林業桜井市場 6月11日定例市は付売特売に変更、6月25日特別市は対策講じ(午前中開催 お茶・食事提供無し、事務所内顧客対応取り止め)通常開催。7月9日定例市は付売特売で、7月22日記念市市は世予防対策講じ、通常開催予定。 ②奈良県6原木市場の5月販売実績合計は昨年同月比 材積1%増、金額4%減。1~5月累計では昨年同月比 材積9%増、金額12%減。寒伐材出材続き材積昨年並みも、価格下落厳しく販売金額大きく減少。7月は各市場で記念市開催予定、コロナの影響で所有者との施策・商談等進んでおらず、市況は引き続き低調で、集荷・価格とも厳しい状況予想される。
岡山	真庭木材市売株	市は通常通り、ヒノキ原木価格少し戻した(13,000→17,000円/m ³)、スギは下落(9,000→7,500円/m ³)及びバイオマス用材(7,000円/m ³)変わらず。原木価格下落も高性能機械等使用の素材生産業者は稼働止められない。製材工場も製品売れず困っている。6月4日特別市開催、一部を除き原木価格居所下げる、7月4日特別市予定。合板取り原木販売に苦戦、7000円/m ² だが合板メーカーの受け入れが大きく制限(特に杉材)され、バイオに流れる。今後6,7月は先行き不透明で心配。(原木)
岡山	株津山総合木材市場	市は通常通り、原木価格、ヒノキは柱取り17,000円/m ³ に戻した。合板向け原木は7,000円/m ³ 。製品は価格下がらないが売上悪い。6月8日特市開催、檜3m材品薄で値戻し。7月2日製品特市予定。大手の住宅振るわず、プレカットは6,7月以降心配。国有林の販売が値を下げている状況も。(原木・製品)
広島	株福山中央木材市場	動きが出てきた実感、6月の市に期待している。コロナの状況異なり、状況に応じた行政対応を望む。不動産部門も賃料等で影響が生じている。(原木)
愛媛県	大木坑木(有)宇和島出張所	市は2回通常通り開催、来客落ち込んでいたが、5月は回復、原木価格下がり、少し落ち着いた、ヒノキ12,500円/m ³ 、スギ9,400円/m ³ 。製材工場は売れるもの(下地材等)を扱っている状況。プレカット6月は3割減、7月は見えない状況とのこと。7月、8月は期待できず、10月に回復期待。合板工場の受け入れは3割程度のところもある様子。(原木)
徳島	株ゲンボク	少し動きは出てきたが、もともと淡路の顧客多く来場者少ない、売上も2~3割程度減、原木市はまだ再開していないが7月の記念市に向けて準備を進めたい。地場の大工の仕事が見えず、秋に向けて心配。(製品)
福岡	福岡市木材(協)	5月の売り上げは前年度より良かった。6月に入っても忙しいが、単価は下がっている。既受注分の仕事はあるが新しいものが見えず、7月、8月はだめだろうが、9月以降に期待。(製品)
福岡	株福岡県新小倉木材市場	4月24日の製品平市を中止、5月も引き続き。6月9日及び24日の市は開催予定。(製品)
長崎	佐世保木材(協)	5月の市は12日は開催、22日は中止、6月は3回とも中止の予定。市以外の特売は来客、市況とも去年に比べ振るわない。(製品)
大分	株ナンブ木材流通	5月の市は2回の予定を1回にしたが、6月は2回開催に戻る。平均単価は少し戻したが、9,000円/m ³ 前後、輸出向け原木は一時の1,500円安の6,000円/m ³ 程度でバイオ向けと変わらない状況。合板工場受入も徐々に減少し半減、価格も500円/m ² づつ下がっている。減産・受け入れの絞り込みに努めているが、できないところも。これから秋に向けてが怖い。(原木)
大分	日田地区原木市場(協)	①日田中央木材市場 5月1日の市を中止し5月18日市実施②日田木材市場 5月7日の市を中止し5月19日市実施③日田郡森林組合 5月8日の市を中止し5月20日市実施 ④日田木協市場 5月11日の市を中止し5月25日市実施 ⑤九州木材市場 5月12日の市を中止し5月26日市実施⑥日田市森林組合 5月13日の市を中止し5月27日市実施 ⑦ナンブ木材流通 5月15日も市中止し5月29日市実施。(原木) 6月の市は、2回開催に戻す。 日田地区原木協5月取扱量24千m ³ 、対前年同月比1.5%増(対前月比9%減)、平均単価96百円/m ³ 、前年同月比22%下落。
熊本	肥後木材株	出材引き続き順調、原木価格は、底値横ばい、原木はスギ、ヒノキ混みでは9,300円/m ³ 前後、バイオも7,000円前後。製品も動かず厳しい、4月中旬から市中止していたが、5月末から市再開、弁当も。5月の売上は2~3割程度減。合板は一部受け入れ制限。7月27日原木記念市予定。